

基本情報						
教科・科目		中2 国語	・授業で使用するもの ・教科書『伝え合う言葉中学国語2』（教育出版） ・『常用漢字オールクリア』（尚文出版） ・ジャパンナレッジschool（電子教材）			
担当者		熊澤				
評価割合（試験：試験外）		試験：50％ 試験外：50％	試験外評価については、年間を通して行う漢字テストや授業で行うプレゼンテーションや創作活動で評価を行う。			
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）	・様々な種類の文章に触れ、興味・関心の幅を広げるとともに、社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に扱うことができる力をつける。			
		理解（思考力・判断力・表現力等）	・社会生活における人との関りの中で伝えあう力をつける。 ・論理的に考える力や共感、想像する力を養い、自分の思いや考えを深めたり、広げたりする力をつける。			
		探求・叡智（主体的に学習に取り組む態度）	・文章の背景や、他者の考えや意見を通じて、言葉の持つ価値を認識し、思いや考えを伝えあおうとする力をつける。 ・読書を生活に役立てる力をつける。			
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
	4	詩『虹の足』詩を通じて、筆者の思う「幸福」について考え、他者との会話を通じ、自分自身の「幸福」について考察する。	・見えているもの（具体、虹の足）、見えていないもの（抽象、幸福）の共通点を理解している。 ・表現技法を適切に使うことができる。 ・筆者の視点の変化を理解している。 ・自分自身の「幸福」について考えることができる。	・表現技法 ・内容読解 ・「幸福」とはどのような時、状態なのか	・講義 ・ワークシート ・グループワーク ・発表	・自分の「幸福」についての考察
	5	小説『タオル』この作品を読むことで、具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めつつ、登場人物の感情や心情を読み取る。 文法「活用のない自立語」	・小説内における「タオル」が何を象徴しているのかを理解している。 ・文学的な表現を通じ、語感を磨き、語彙を豊かにする。 ・少年の感情の変化が、表現の効果により、明確なものになっていることを理解する。 ・具体と抽象を適切に使うことができる。 ・活用のない自立語の働きを理解し、適切に文章中で使うことができる。	・内容読解 ・「タオル」のもつ役割や効果について考える。 ・祖父の周りの人々の思いから、祖父の人物像について考える。 ・各場面ごとに少年の心情の変化について「涙」に注視し、考える。 ・創作活動 ・名詞、副詞、連体詞、感動詞、接続詞・言葉のきまりごと	・講義 ・問いの立て方 ・ワークシート ・グループワーク ・発表	・象徴（タオル）の読み取りの的確さ ・心情の変化の読み取りと根拠提示
6	定期試験① 令和8年 6月3日－6月5日）					
	6	説明文『水の山 富士山』この文章を読むことで、科学的な探求の筋道の立て方を学び、自身の探究活動に活かす。	・情報と情報との様々な関係の表し方を理解し、使うことができる。 ・文章と図を結びつけながら、内容を理解している。 ・文章を読んで考えたことや理解したことを自身の知識や経験と結びつけることができる。 ・観点を明確にして、文章を比較しながら読むことができる。	・内容読解 ・全文を読み、内容を要約しながら、段落分けをする。 ・問いと答えの関係性を考える。 ・富士山がもたらす恵みについて、筆者の考えを学び、自身の考えまとめ、他者と共有する。 ・富士山や世界遺産についての調べ学習・創作活動	・講義 ・仮説の立て方 ・ワークシート ・グループワーク ・発表	・要約・段落構成の適切さ ・調べ学習・共有の質
	7	提案「説得力のある提案をする」事実と意見を区別して提案することやその提案の実行可能性を提示すること、話の構成を工夫すること。 文法「活用のある自立語」	・話の構成を効果的に組み立てながら話すことができる。 ・意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報の関係について理解できる。 ・社会生活の中から話題や疑問を見つけ、異なる立場や考えを想定しながら、自らの提案を行うことができる。 ・用言の活用と種類、用法を理解し、適切に文章中で使うことができる。	・「計画する」ことの大切さを理解する ・文章構成の重要性を理解する。 ・スピーチ原稿の作成 ・他者の発表を聞き、意見や提案の適切さを確認し合う。 ・動詞、形容詞、形容動詞	・講義 ・情報収集の仕方 ・ワークシート ・グループワーク ・発表	・意見と根拠の明確さ ・提案の実現可能性 ・発表態度・他者評価
7	定期試験② 令和8年 7月15日－7月17日 範囲）					
	9	短歌「短歌の味わい」様々な時期に生まれた短歌の持つ魅力に触れ、文学的な感性を豊かにする。	・情景や心情を感じとることができる。 ・作品の特徴を理解し、古典の世界に親しむことができる。 ・学習を生かして、短歌を創作することができる。	・短歌の味わい方について、筆者の考えを理解する。 ・短歌を音読し、情景や心情を捉え、表現の工夫にも注視する。 ・短歌の決まりを理解し、創作する。	・講義 ・ワークシート ・グループワーク ・発表	・短歌創作の工夫 ・鑑賞・交流への参加
	10	評論『ガイアの知性』自然や知性に対する筆者の考えを理解し、自身のこれからの自然との関り方について考察する。また推論を重ねた文章を読むことで、自らも推論を可能にすることで、対比構造の文章を自ら書く。	・抽象的な概念を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことができる。 ・意見と根拠、具体と抽象などの情報と情報との関係について理解することができる。 ・文章を読み、理解したことや考察したことを知識や経験と結びつけることができる。 ・筆者が用いる語句の意味を正確に捉えることができる。 ・対比の文章が自ら書ける。	・問題と主張の関係を把握する。 ・「象と鯨」と「人間」の二つの「知性」の対比構造を理解する。 ・第一段落の二つの問題提起を捉え、第二段落以降の解決に関わる語句を見つける。 ・「鯨と象」の「高度な知性」とは何かを理解する。 ・「攻撃的な知性」と「受容的な知性」を理解する。 ・筆者の主張について考察する。 ・筆者の主張に対し、自らの意見を考察し、推論を深めつつ、自分の意見を文章にまとめる。	・講義 ・分析の仕方 ・ワークシート ・グループワーク ・発表	・抽象語の理解と使用 ・対比構造の読み取り ・筆者の主張の把握 ・自分の意見の論理性
10	定期試験③ 令和8年 10月21日－10月23日 範囲）					
	11	古文『枕草子』『徒然草』歴史的仮名遣いに注意して、言葉の意味を正確に読み、作者の思いを想像する。 作者のものの見方や考え方にに対して、自分の考えをもつ。	・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。 ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。 ・すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようすることができる。	・歴史的仮名遣いに注意しながら音読し、どのような季節感や人間観が述べられているか課題をもつ。 ・『枕草子』を読んで季節の情景を捉え、感想を交流する。 ・『徒然草』を読んで作者の人間観を捉え、それに対する自分の考えを文章にまとめる。	・講義 ・ワークシート ・グループワーク ・発表	・歴史的仮名遣いの理解 ・内容の正確な読み取り ・作者のものの見方の理解 ・自分の考えの表現
	12	古文『敦盛の最後』作品の歴史的背景を理解し、文語文に積極的に触れ、古典を楽しむ。また、現代に生きている人々との価値観の違いに注視しつつ、作品を読むことで、自身の持つ価値観を見つめ直す。	・作品の特徴や時代背景を理解し、古典の世界に親しむことができる。 ・文章全体と部分との関係や言動に注意しながら、登場人物の心情についての理解を深めることができる。	・『平家物語』や源氏と平家について学ぶ。 ・書かれた当時の歴史的背景を学ぶ。 ・この作品が書かれた意義について話し合う。 ・全文を通読し、心情や言動についてまとめる。	・講義 ・ワークシート ・グループワーク ・発表	・時代背景の理解 ・登場人物の心情理解 ・文章構造の把握 ・古典への関心
12	定期試験④ 令和8年 12月9日－12月11日 範囲）					
	1	漢文「二千五百年前からのメッセージ」音読をとおして漢文の表現に慣れる。 『論語』を読んで、孔子の考えを捉える。	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・粘り強く現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって解釈したことを表現することができる。	・書き下し文を音読したり、現代語訳を確認したりすることで、各章句の意味を捉える。 ・教科書の章句の中から一つ選び、そのよさを書いたうえで、話し合う。 ・好きな孔子の言葉を他にも探して、『論語』の言葉で心に響いた表現や内容についての自分の考えを文章にまとめ、紹介し合う。	・講義 ・ワークシート ・グループワーク ・発表	・音読・書き下しの正確さ ・内容理解（教えの把握） ・現代との関連づけ ・自分の考えの表現
	2	小説『走れメロス』内容読解を通じて、豊かな人間性を養い、たくましく生きる意志を育てたり、人間、社会、人生について、より考えを深める。また、人称の変化に注意し、全知視点と俯瞰視点を見分け、三種類の語りの意図や効果があるのかを考え、作者の意図を考える。	・抽象的な概念を表す語句の量を増やし、文章中で使うことを通し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・登場人物や言葉に込められた意味を積極的に理解できている。 ・太宰治の秀逸な文体や登場人物の設定や関係などの、物語の持つ、面白さや魅力が理解できる。	・通読し、全体の構成を捉える。 ・特徴的な表現や面白いと思った文や言葉をまとめる。 ・状況や登場人物などについて相関図等をつくる。 ・登場人物の言動や心情、その変化を捉え、自分の意見をまとめる。 ・人称などが作品に与える効果について考える。 ・シラーの『人質』と比べ読みをして、『走れメロス』に特徴的な点を明らかにする。 ・メロスの走る速度を計算する。	・講義 ・ワークシート ・グループワーク ・発表	登場人物・構成の理解 表現技法（語り・人称）の分析 主題理解と考察の深さ 比較読解・意見形成
3	定期試験⑤ 令和9年 3月4日－3月6日 範囲）					